



6月30日にクレジットを活用した証明書を交付しました

本町は、町有林の整備を進める中で、間伐により成長する造林木の二酸化炭素の吸収量をクレジット化(数値化して売買取引可能な形にする)する取組を、令和2年度から行っています。

今年度からは、J・クレジット認証委員会(経済産業省等が運営)で認証を受けたクレジットの企業等へ、販売を開始しています。

この度、二酸化炭素排出量の削減に取り組み(株)日本旅行とJ・クレジットの売買契約を締結し、初めてクレジットを販売しました。

(株)日本旅行に
J・クレジットを販売

6月7日(火)



「ありがとう」の声が所内に響く

(株)藤原建設から桜ヶ台保育所に、「コロナ対策のパーティーション(30器)」と「建設現場で活躍する乗り物の絵本(8冊)」の寄贈がありました。

パーティーションは、昼ご飯やおやつに使用され、絵本は読み聞かせなどで活用される予定です。

藤原直城専務は「子どもたちの声が響く、賑やかな食事時間が戻ってきてくれたらうれしいです。絵本が、子どもたちが建設業に興味を持つきっかけになれば」と話していました。

パーティーション
絵本が寄贈

6月14日(火)



参加者同士で講演を聞いての疑問や感想を話し合いました

地域や学校の未来はどうあるべきかを考えるシンポジウムを、来島交流センターで開催しました。

町内の学校の教職員や保護者など約50人が参加。島根大学教授の作野広和氏の講演に、参加者は耳を傾けました。

シンポジウム前には、町の教育環境基本方針検討委員会を開催。

今回のシンポジウムと検討委員会を皮切りに、町民の皆さんと共に、本町にふさわしい教育や学校のあり方を協議していきます。

「地域と学校の未来シンポジウム」
教育環境基本方針検討委員会を開催

6月27日(日)



1回目の教育環境基本方針検討委員会の様子



シンポジウムで講演する作野広和教授

7.1
金

飛び交う無数のホタル
きじま里山講座ホタル観賞会

来島公民館主催の「ホタル観賞会」が開催されました。

当日は、小田ふるさと回想館で、三瓶自然館サヒメルの学芸員から、ホタルの生態や種類などの説明を受けた後、奥小田地区にある観賞場所へ移動しました。

辺りが暗くなると、ゲンジボタル、ヒメボタルの光が輝いていました。参加者は「初めてこんな数のホタルを見て感動しました」と話していました。



地域の子どもなど約40人が参加

7.2
土

夏の夜空を彩る大輪の花火
半夏まつり

赤来夏まつり実行委員会主催の半夏まつりが、3年振りに開催されました。

夏の夜空に打ち上げられた花火を、町内外からの来場者が楽しみました。多くの方が、カメラやスマートフォンで花火を撮影している中、赤名小学校裏の瀬戸山城址まで登って、写真を撮影する方も見られました。

花火の様子は、自宅でも楽しむことができるよう、飯南町・雲南市のケーブルテレビで生中継されました。



約1千発の花火が夜空に打ち上げられました

7.3
日

中国地方最大級のレース
飯南ヒルクライム2022

急勾配を駆け上がる自転車レース「飯南ヒルクライム」が4年振りに開催されました。

今年度はコースを変更し、美郷町魚切地区をスタートし、飯南町向谷地区がゴール。棚田など田舎ならではの景観を楽しめる全長7.7キロメートル、高低差約400メートルのコースとなりました。

レースには、10代から60代まで幅広い世代約180人が県内外から参加。沿道からは町民の皆さんが、風を切って走る自転車の集団に手を振り応援していました。



優勝目指してスタート



急な上り坂を進む



特産品をかけて参加者全員でじゃんけん大会